

公共施設のあり方に関する市民意識調査結果（修正版）

- 1 調査概要
- 2 回答者の基本属性
- 3 回答結果(概要・補足)
- 4 結果の考察について(施設に対する総合的な評価)

1. 調査概要

第2回から変更なし

(1) 調査の実施概要

調査対象	市内に居住する16歳以上の方（住民基本台帳から無作為抽出）
対象者数	3,000人
調査時期	平成27年8月
調査方法	調査票による本人記入方式（調査票は郵送による配布・回収）

(2) 調査内容

公共施設の利用状況など	1. この2～3年間に、川西市の公共施設をどのくらい利用したか 2. 利用した施設に対する満足度（建物・設備の面、サービスの面）
今後の公共施設のあり方	1. 各施設で提供されている「サービス」の今後の重要度 2. 今後の更新（建替え）費用の負担を減らす工夫 3. 将来、川西市がどのようなまちになってほしいと思うか
回答者の基本属性	性別、年齢、川西市での居住年数、居住地域、同居形態、外出時の交通手段
今後の公共施設のあり方（意見等）	自由記入

(3) 回収結果

調査票の有効配布数2,994通（宛先不明による返送6通）に対し、回収数1,327通（回収率44.3%）

2. 回答者の基本属性

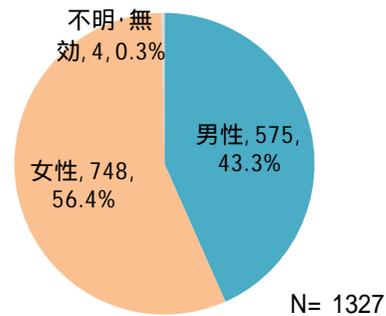
第2回から変更なし

回答者の性別は、男性が4割強、女性が6割弱の割合となっています。

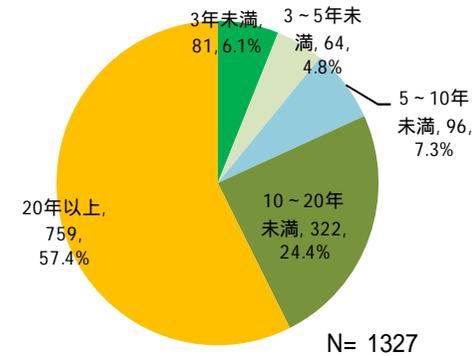
回答者の居住年数は20年以上との回答が最も多く、6割近くを占めています。

回答者の年齢構成は、30歳代、60歳代、70歳代がそれぞれ16~18%程度、40歳代、50歳代、16歳から19歳及び20歳代がそれぞれ10~15%程度の割合となっています。

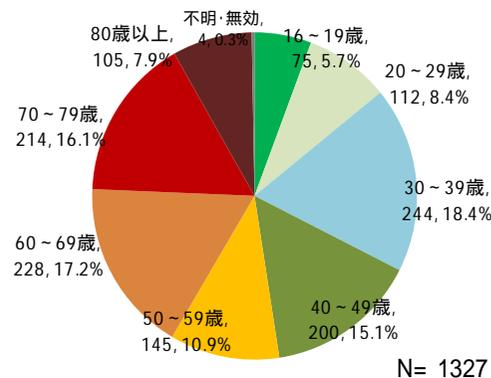
性別



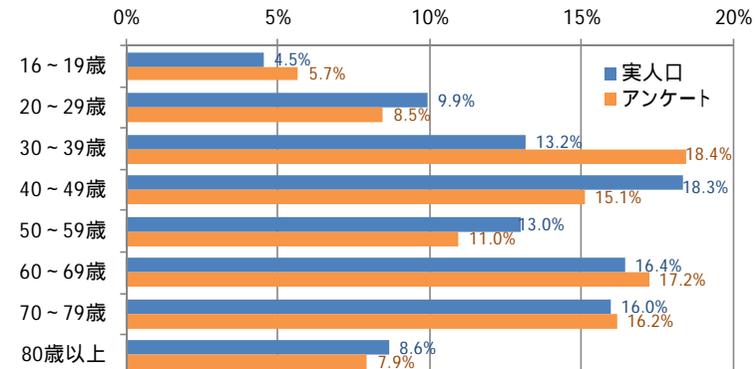
川西市での居住年数



年齢層



本市の人口構成比(H27.3月時点)との対比



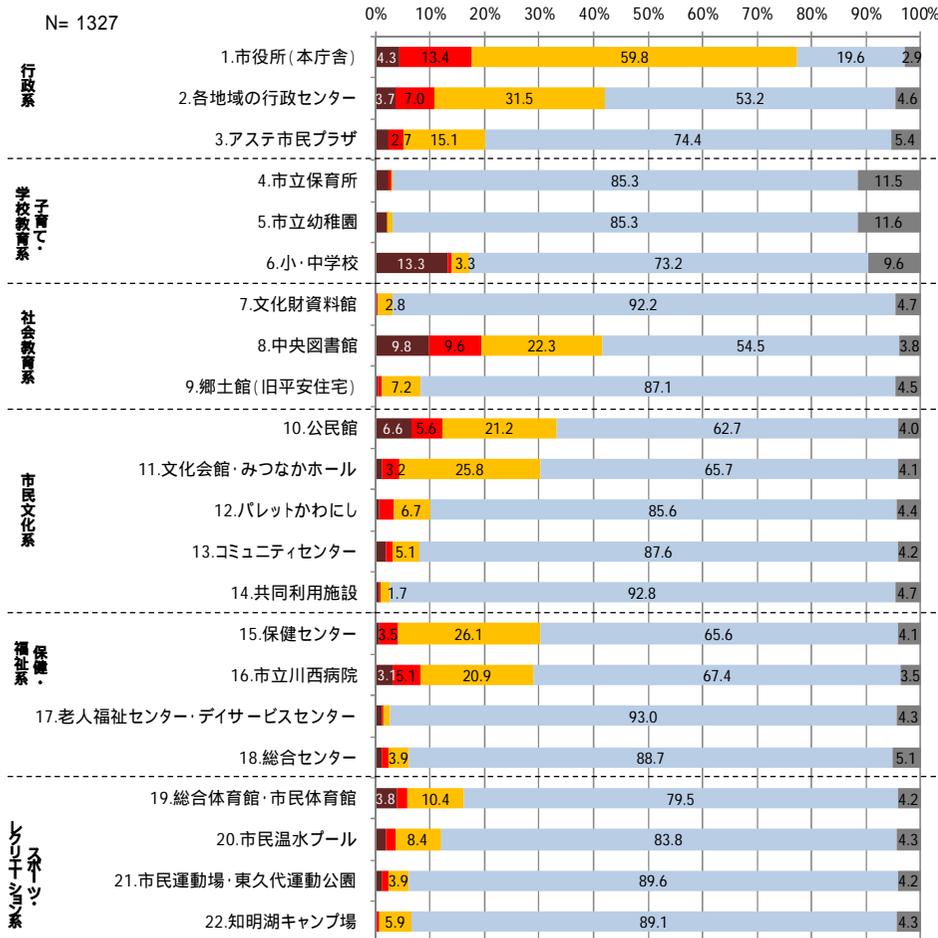
3. 回答結果（概要）

（1）公共施設の利用状況

利用状況について、利用頻度に応じてポイント化して比較すると、市役所（本庁舎）、中央図書館、小・中学校、各地域の行政センター、公民館などが上位を占めています。

問1 この2～3年間に、川西市の公共施設をどのくらい利用したか

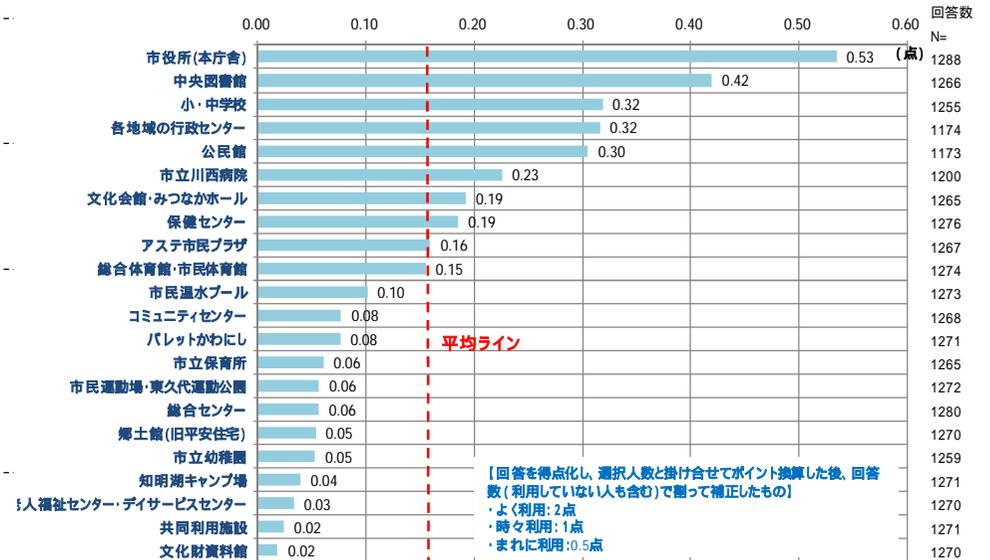
N= 1327



■よく利用(月1回以上) ■時々利用(2・3か月に1回) ■まれに利用(年に数回) ■利用していない ■無回答

保育所、幼稚園、小中学校については、子どもが通っている場合は「よく利用(月1回以上)」を選択

利用状況をポイント化し比較したもの



【ポイント化の手順に関する補足】

回答数のポイント換算

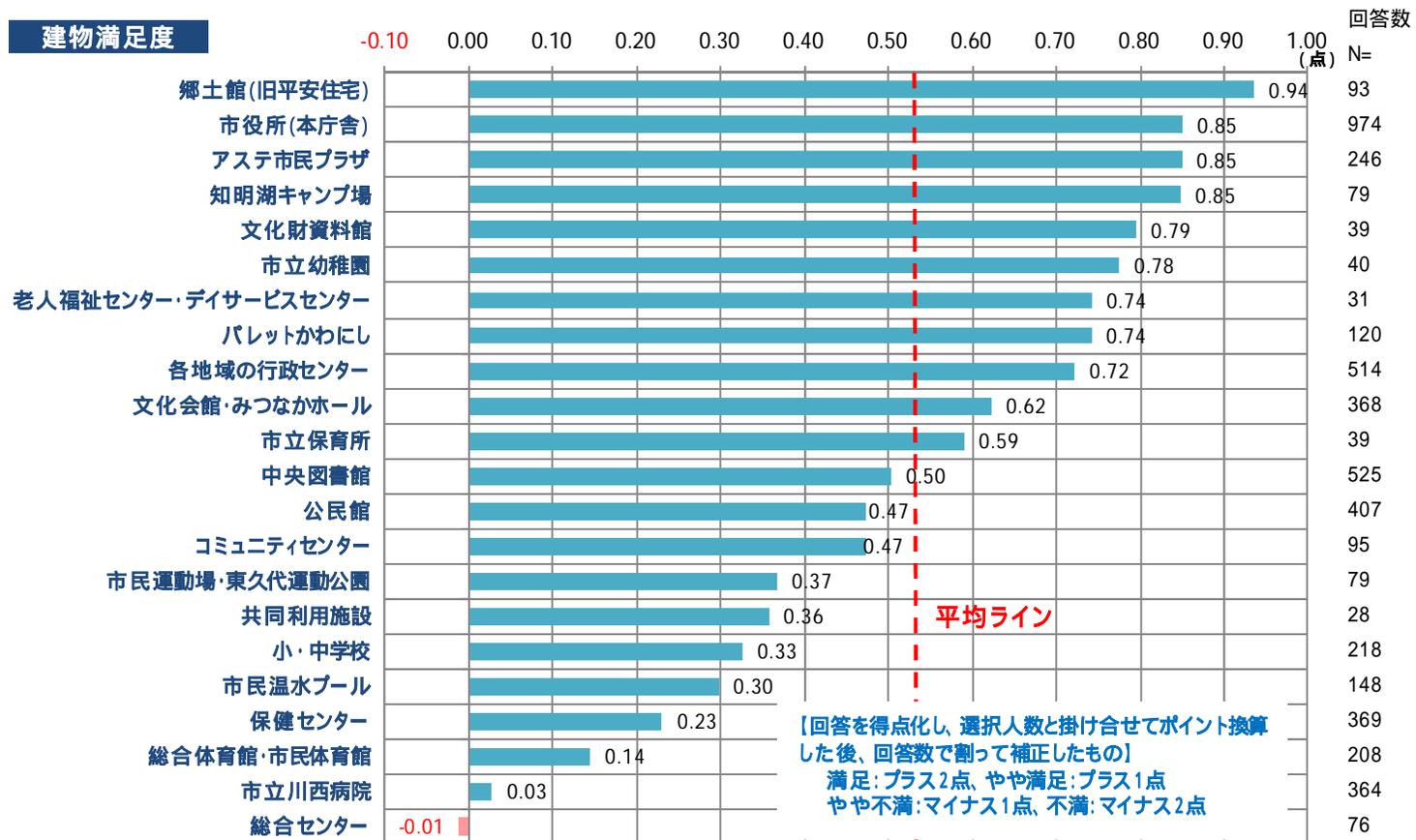
よく利用人数×2点、時々利用人数×1点、まれに利用人数×0.5点
上記で算出(合計)したポイントを回答数(利用していない人も含めた人数。無回答数は除く。)で割って補正。

3. 回答結果（概要）

（2）利用した施設に対する満足度（建物・設備の面）

郷土館の満足度が最も高くなっており、次いで市役所（本庁舎）、アステ市民プラザ、知明湖キャンプ場などが上位を占めています。満足度が低い施設としては、総合センター、市立川西病院、総合体育館・市民体育館などとなっています。

問1-1 利用した施設についてどのくらい満足しているか 建物・設備の面（ポイント化し比較）



【ポイント化の手順に関する補足】

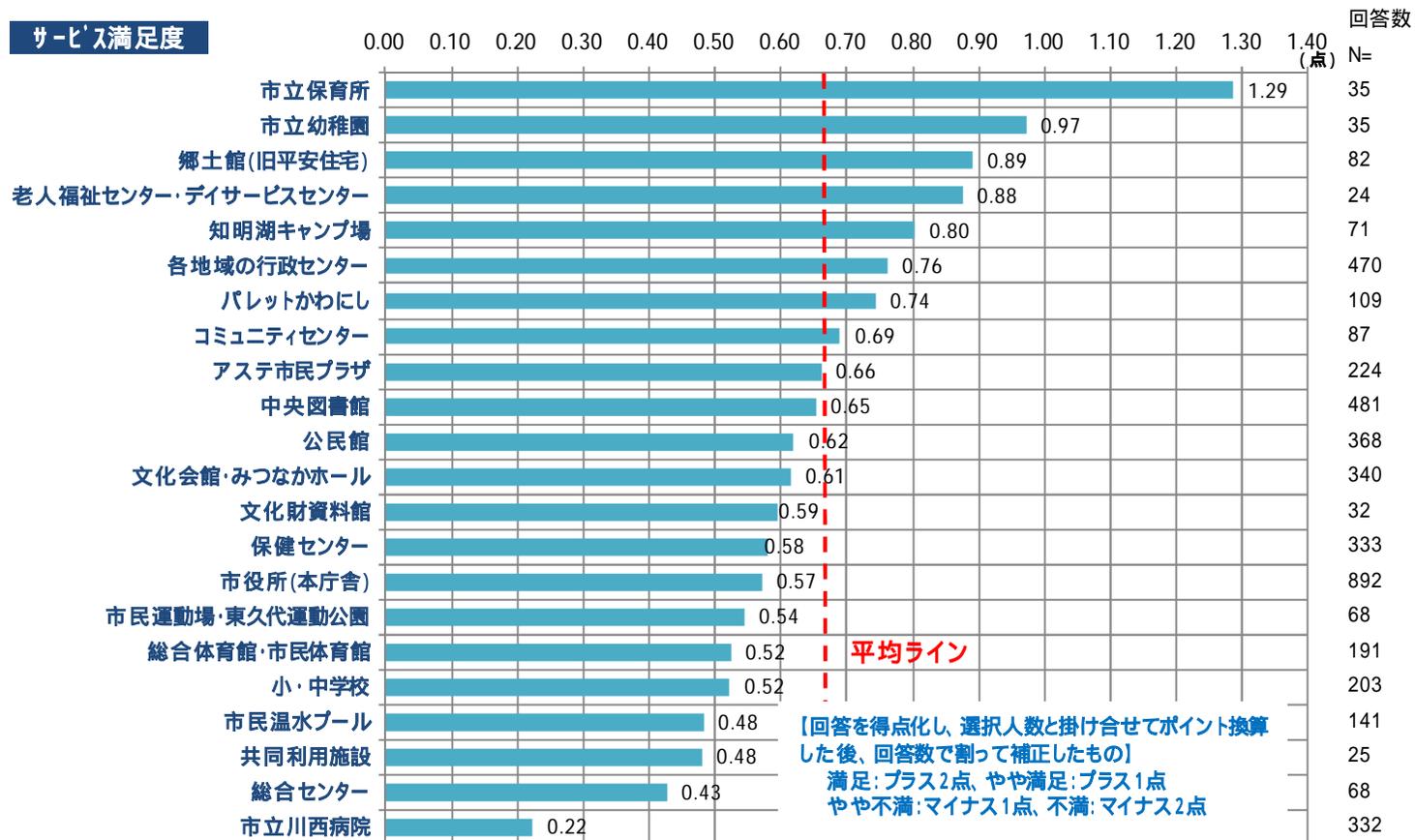
回答数のポイント換算 満足人数×2点、やや満足人数×1点、やや不満人数×マイナス1点、不満人数×マイナス2点
 上記 で算出（合計）したポイントを回答数（満足～不満の合計人数。無回答数は除く。）で割って補正。

3. 回答結果（概要）

（2）利用した施設に対する満足度（サービスの面）

市立保育所の満足度が最も高くなっており、次いで市立幼稚園、郷土館、老人福祉センター・デイサービスセンターなどが上位を占めています。満足度が低い施設としては、市立川西病院、総合センターなどとなっています。

問1-1 利用した施設についてどのくらい満足しているか サービスの面（ポイント化し比較）



【ポイント化の手順に関する補足】

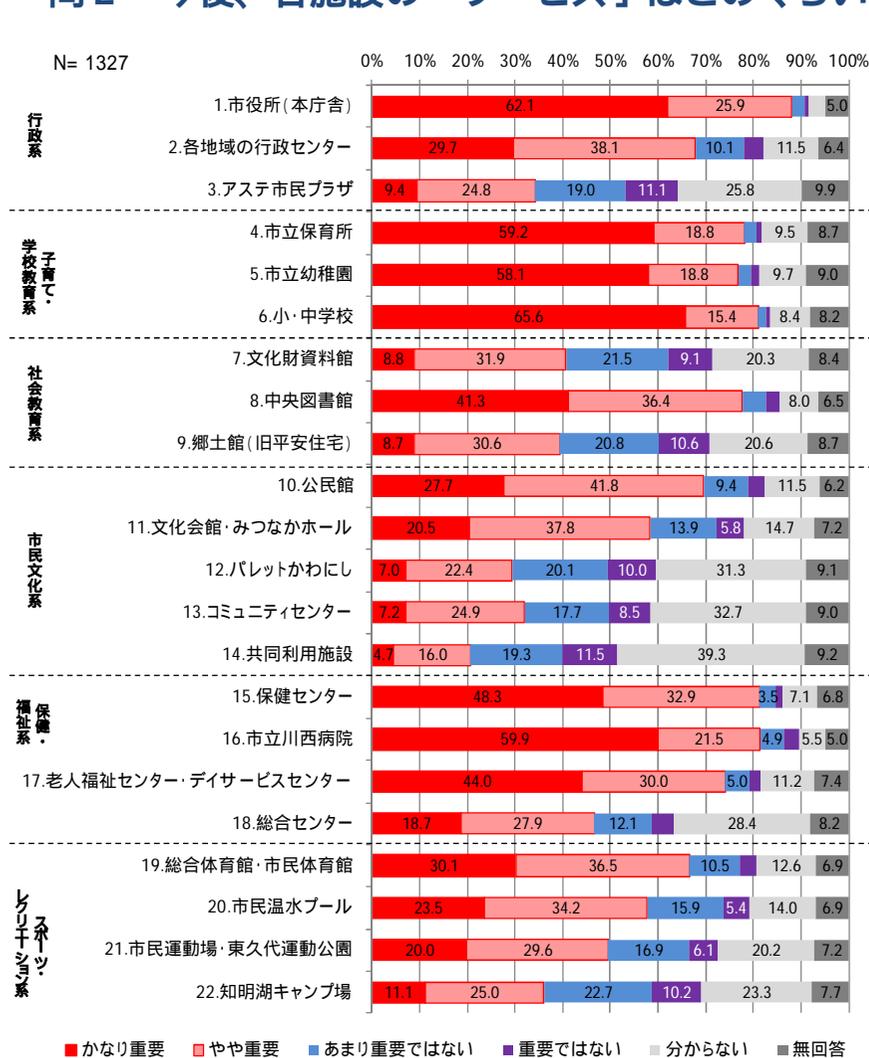
回答数のポイント換算 満足人数×2点、やや満足人数×1点、やや不満人数×マイナス1点、不満人数×マイナス2点
 上記 で算出（合計）したポイントを回答数（満足～不満の合計人数。無回答数は除く。）で割って補正。

3. 回答結果（概要）

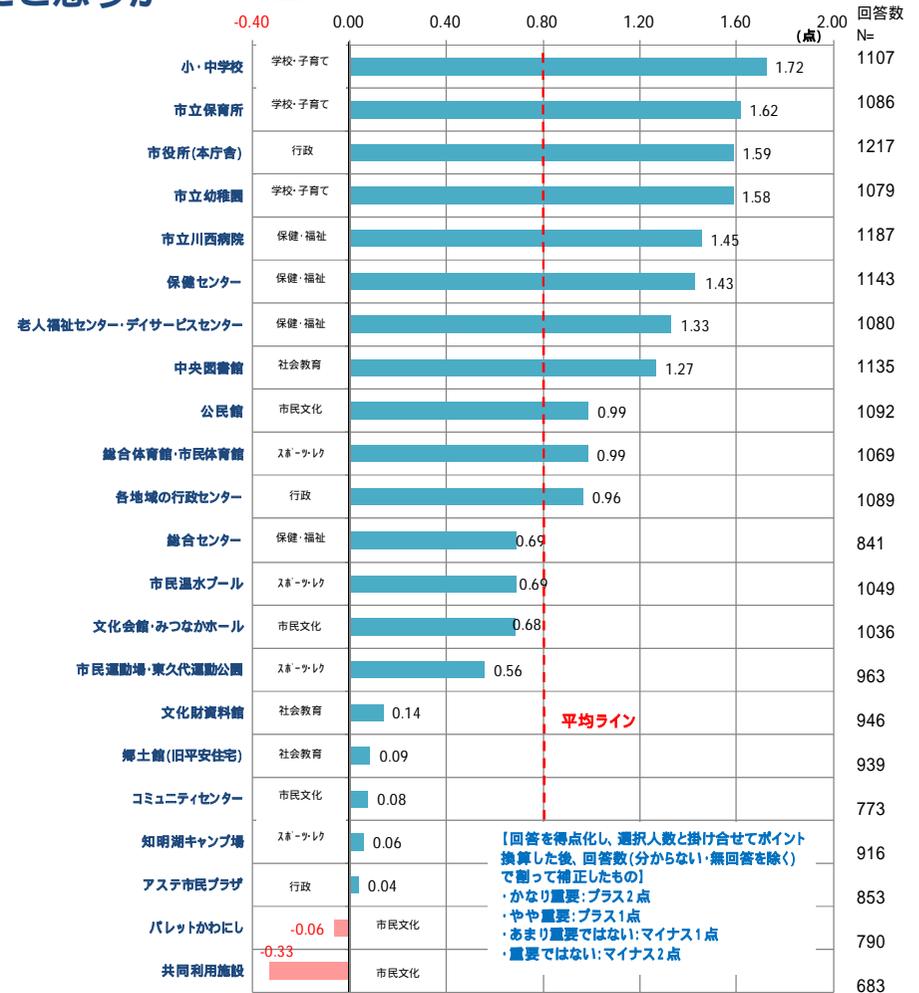
（3）今後における各施設の「サービス」の重要度

重要度に応じてポイント化して比較すると、小・中学校、市立保育所、市役所、市立幼稚園、市立川西病院などが上位を占めています。

問2 今後、各施設の「サービス」はどのくらい重要だと思うか



重要度をポイント化し比較したもの



【ポイント化の手順に関する補足】

回答数のポイント換算 かなり重要人数×2点、やや重要人数×1点、あまり重要でない人数×マイナス1点、重要でない人数×マイナス2点
上記で算出(合計)したポイントを回答数(分らない、無回答の数は除く。)で割って補正。

3. 回答結果（概要）

（4）今後の更新（建替え）費用の負担を減らす工夫として賛成できる方策

「施設の統廃合・集約化」、「転活用による有効利用」に関する方策については、ほとんどの施設種類において、概ね過半数の支持を得ていますが、「子育て・学校教育系施設」など、支持割合がやや低いものもあります。

「多機能化による有効利用」、「市民・地域等への移管」に関する方策については、施設種類によって支持割合にやや開きが見られます。

「広域化（他市と共有）」に関する方策については、各施設種類共に2～3割程度の支持割合となっています。

第2回から変更なし

問3 今後、更新（建替え）費用の負担を減らす工夫として賛成できる方策

各方策に対する賛成比率（％）

N= 1327

施設種類	方策(類型)									
	施設の統廃合・集約化	全市/地域別機能の最適分担	多機能化による有効利用	ソフトサービス充実による代替	広域化(他市と共有)	市民・地域等への移管	民間移管(民間施設の利用助成)	サービス維持のための利用負担増	長寿命化	転活用による有効利用
A 行政系施設	48.6		49.4	26.7					46.7	
B 子育て・学校教育系施設	44.8		38.8			26.0	34.6		40.5	53.0
C 社会教育系施設		30.1	28.1		28.1	37.1				
D 市民文化系施設	68.9		40.5		23.4	30.0		6.6		50.6
E 保健・福祉系施設	50.8				21.3	28.9	41.3	13.9		
F スポーツ・レクリエーション系施設	60.1				25.6	34.4	37.9	9.2		

空欄部分は設問上、非該当の項目

3. 回答結果（概要）

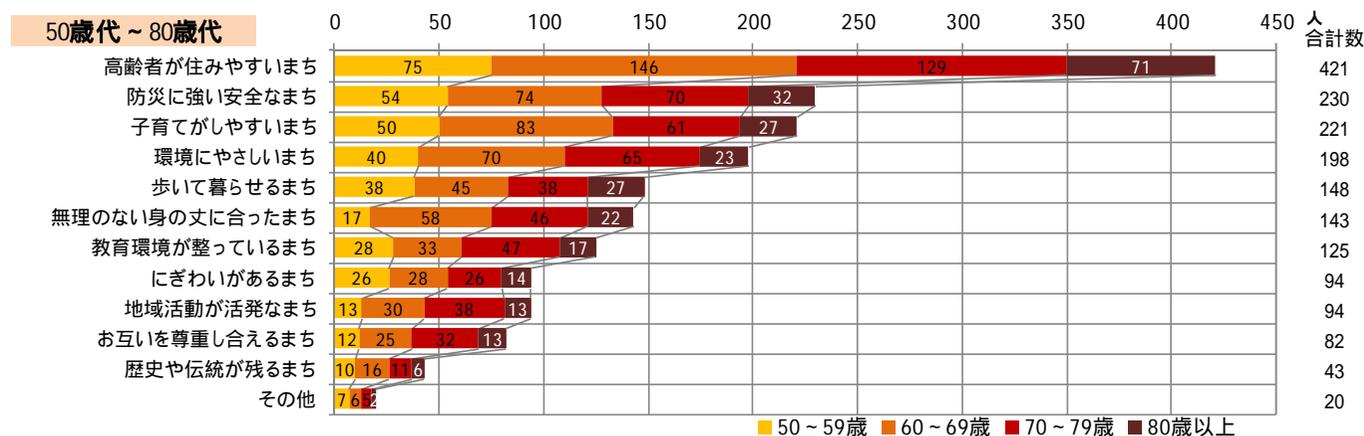
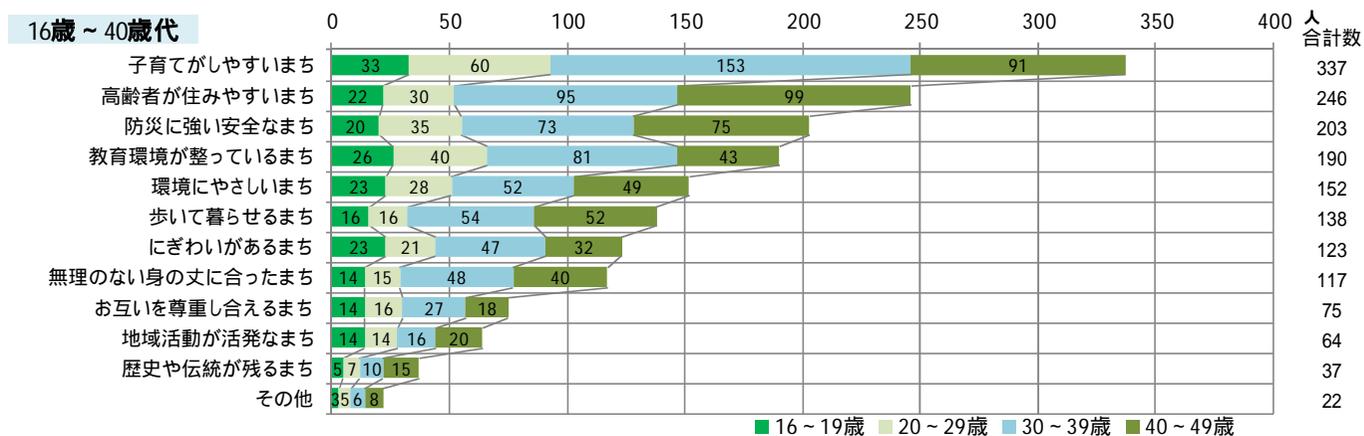
（5）川西市の将来像（どのような町になってほしいか）

第2回から変更なし

16歳から40歳代までで見ると、「子育てがしやすいまち」が最多となっており、16歳～19歳、20歳代、30歳代の各年齢層で最も多く回答されています。この他に、「高齢者が住みやすいまち」、「防災に強い安全なまち」、「教育環境が整っているまち」などが上位となっています。

50歳代から80歳代までで見ると、「高齢者が住みやすいまち」が最多となっており、いずれの年齢層でも最も多く回答されています。この他に、「防災に強い安全なまち」、「子育てがしやすいまち」、「環境にやさしいまち」などが上位となっています。

問4 将来、川西市がどのような町になってほしいと思うか

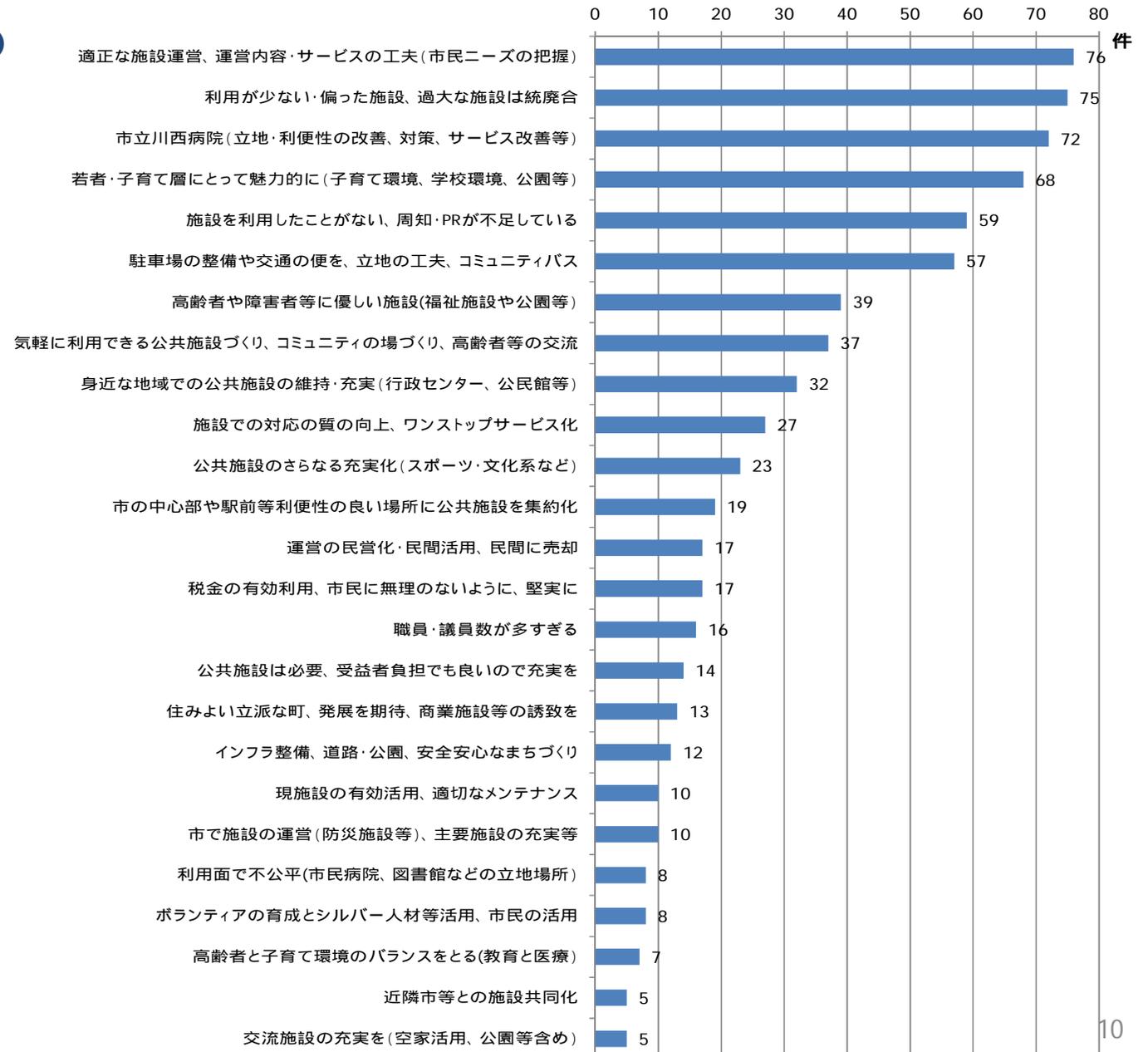


3. 回答結果（概要）

（6）自由意見の分類結果（今後の公共施設のあり方について）

第2回から変更なし

（意見記入者数：569人）

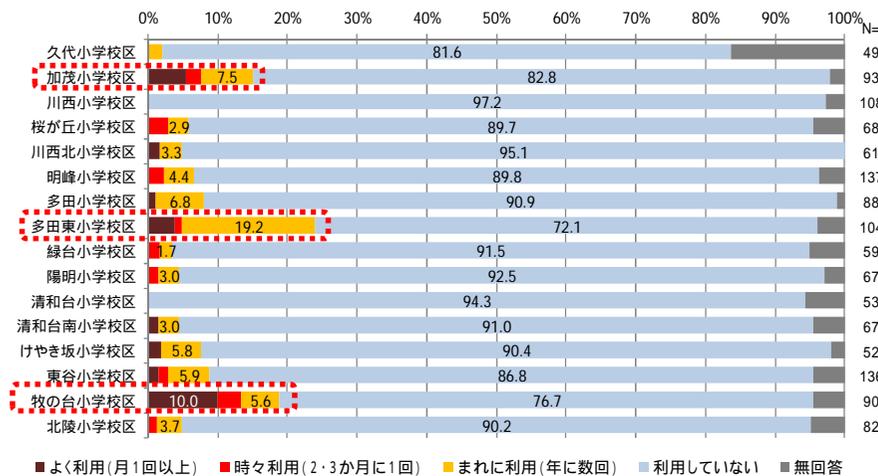


3. 回答結果（補足）【コミュニティセンターに関する回答結果について】

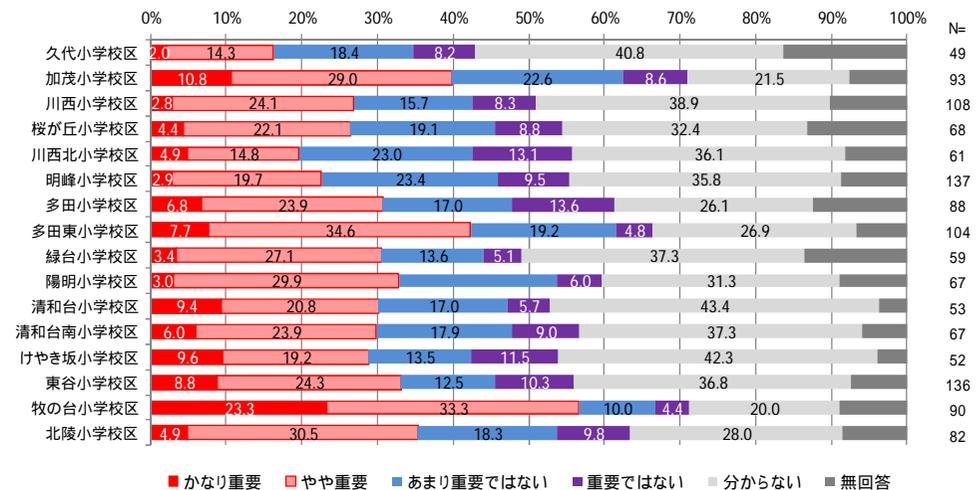
コミュニティセンターの多くは公民館に併設されており、牧の台、多田東、満願寺、加茂の4館が単独館となっています。校区別に見ると、単独館の地区（加茂、多田東、牧の台の3地区）では利用が多く、重要であるとの回答も多くなっています。（公民館と併設されている地区では認知度が低く、利用状況や重要度の回答に影響した可能性があります。）

利用の多い3校区に限って満足度（回答数をもとにポイント化したもの）を見ると、加茂と牧の台ではコミュニティセンター全体や公共施設全体の平均を上回っていますが、それらに比べて多田東では建物・設備面、サービス面共に満足度が低くなっています。

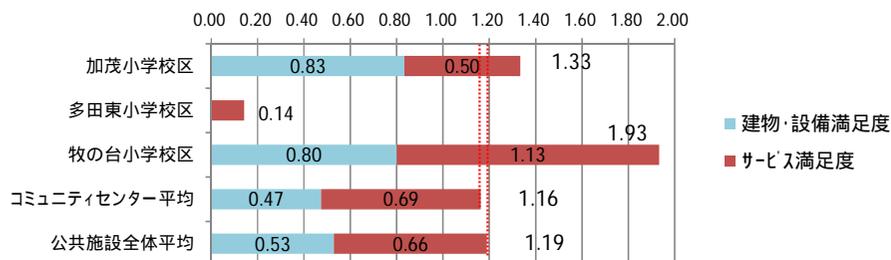
施設の利用状況



施設の今後の重要度



施設の満足度



【満足度のポイント化の手順に関する補足】

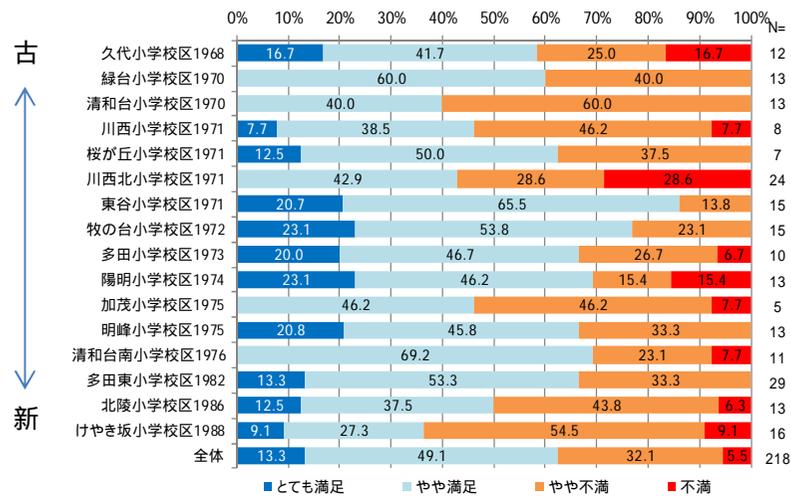
回答数のポイント換算
 満足人数×2点、やや満足人数×1点、やや不満人数×マイナス1点、不満人数×マイナス2点
 上記で算出（合計）したポイントを回答数（満足～不満の合計人数。無回答数は除く。）で割って補正。

3. 回答結果（補足）【小・中学校に関する回答結果について】

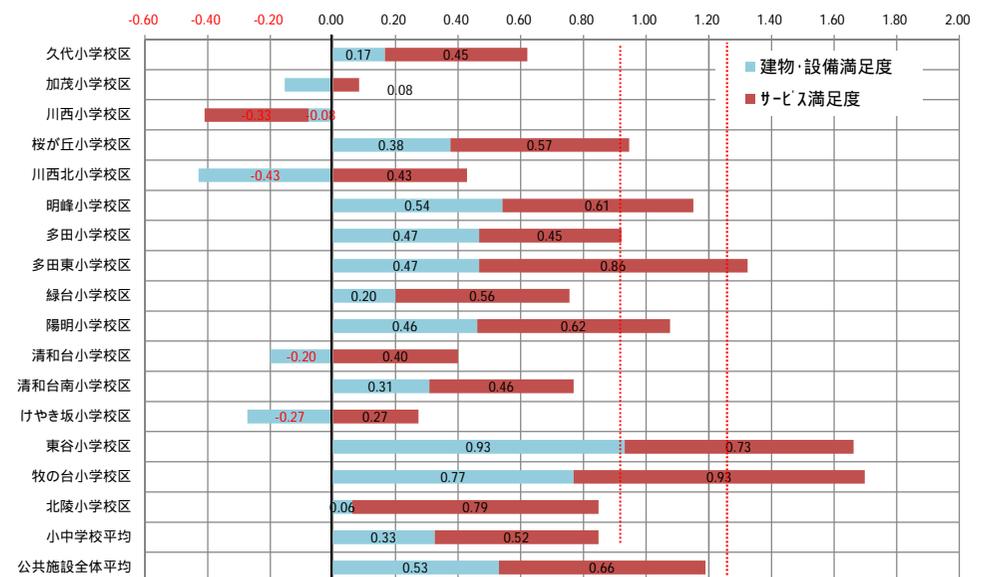
小・中学校に対する満足度は特に建物・設備の面が低い評価となっています。小学校の建設年順で見ると、建設時期に関わらず不満の比率が高い校区が見られます。比較的評価の高い牧の台や東谷では小学校の大規模改修（耐震化やトイレ改修含む）が実施済みであり、これらの取組みが満足度に影響している可能性があります。一方、清和台小、川西北小や川西小では校舎や体育館の耐震補強工事等を実施していますが、満足度評価は低くなっています。

また、子どもが学校に通っている世帯と、それ以外の世帯（一般開放等で学校施設を利用する世帯）で見ると、不満の比率は子どもが学校に通う世帯で若干高いものの、満足・不満の大まかな比率は似通った傾向となっています。

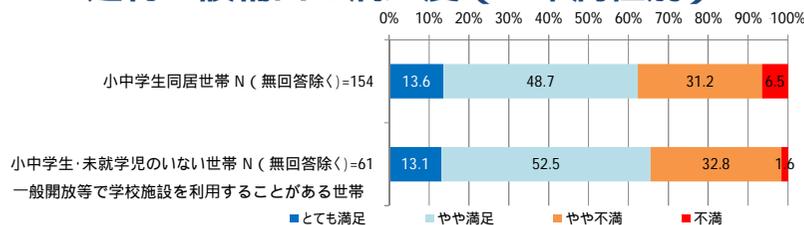
建物・設備面の満足度(小学校建設年順)



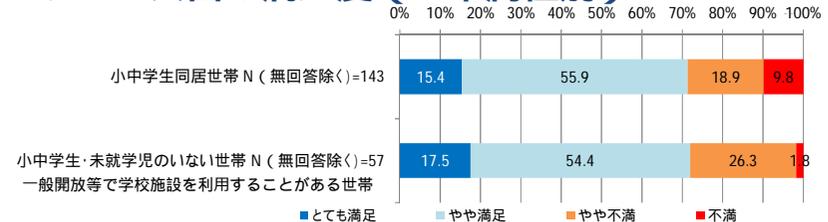
施設の満足度（建物・設備面、サービス面）



建物・設備面の満足度（世帯属性別）



サービス面の満足度（世帯属性別）



4. 結果の考察について（施設に対する総合的な評価）

満足度・重要度から見た総合評価（次ページに図示したものを掲載）

満足度と重要度の平均ラインを基準として各施設を評価すると、保育所、市役所、幼稚園などが満足度・重要度共に高く、共同利用施設、総合センターなどが満足度・重要度共に低い評価となっています。

パレットかわにしやアステ市民プラザなどの施設は、満足度は高いが重要度が低くなっており、小中学校や川西病院などの施設は、重要度は高いが満足度が低くなっていきます。

【満足度が平均ライン(1.19)を上回る施設】

満足度は建物・設備面とサービス面の合計

施設類型	施設	満足度(建物・設備面とサービス面の合計)	重要度
子育て・学校教育系	市立保育所	1.88	1.62
行政系	市役所(本庁舎)	1.42	1.59
子育て・学校教育系	市立幼稚園	1.75	1.58
保健・福祉系	老人福祉センター・デイサービスセンター	1.62	1.33
行政系	各地域の行政センター	1.48	0.96
市民文化系	文化会館・みつなかホール	1.24	0.68
社会教育系	文化財資料館	1.39	0.14
社会教育系	郷土館(旧平安住宅)	1.83	0.09
スポーツ・レク系	知明湖キャンプ場	1.65	0.06
行政系	アステ市民プラザ	1.51	0.04
市民文化系	パレットかわにし	1.48	-0.06

満足度、重要度共に平均より高い

(現状維持)

重要度の平均(0.80)

満足度は高いが、重要度が平均より低い

(施設利用の向上、PR等が必要)

【満足度が平均ライン(1.19)を下回る施設】

施設類型	施設	満足度(建物・設備面とサービス面の合計)	重要度
子育て・学校教育系	小・中学校	0.85	1.72
保健・福祉系	市立川西病院	0.25	1.45
保健・福祉系	保健センター	0.81	1.43
社会教育系	中央図書館	1.16	1.27
市民文化系	公民館	1.09	0.99
スポーツ・レク系	総合体育館・市民体育館	0.67	0.99
保健・福祉系	総合センター	0.41	0.69
スポーツ・レク系	市民温水プール	0.78	0.69
スポーツ・レク系	市民運動場・東久代運動公園	0.91	0.56
市民文化系	コミュニティセンター	1.16	0.08
市民文化系	共同利用施設	0.84	-0.33

重要度は高いが、満足度が平均より低い

(施設のハード面、サービス面の改善・充実が必要)

重要度の平均(0.80)

満足度、重要度共に平均より低い

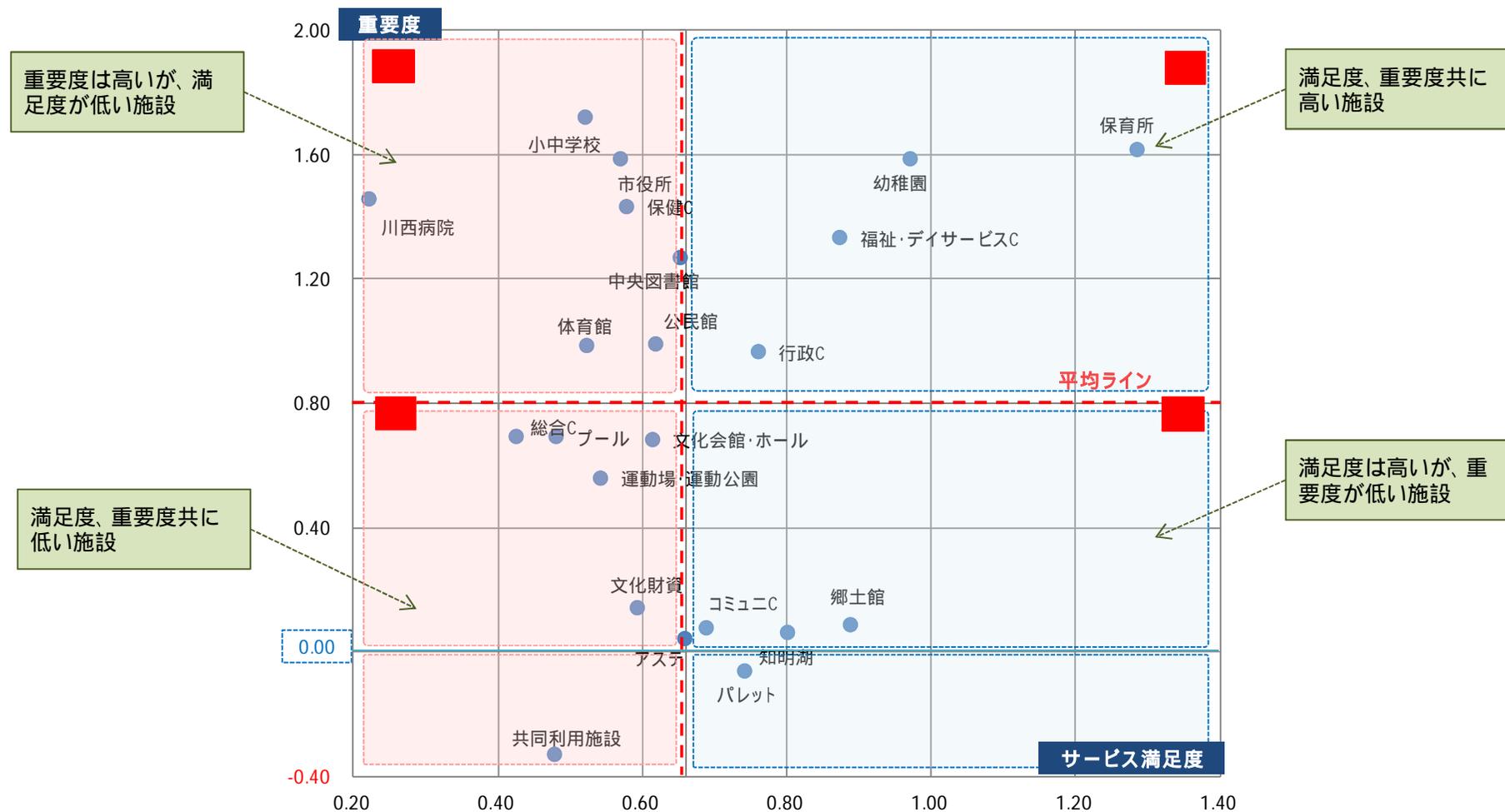
(施設のあり方について検討が必要)

4 . 結果の考察について（施設に対する市民の評価と今後の対応）

【参考3】サービスの満足度と今後の重要度

満足度と重要度共に平均よりも高い施設（ の領域）は、市立保育所、市立幼稚園、老人福祉センター・デイサービスセンター、行政センターとなっています。

重要度、満足度共に低い施設（ の領域）は共同利用施設などが該当しています。



縦横の軸は満足度と重要度の回答数をもとに、それぞれポイント換算した数値。満足度は右へ行くほど高く、重要度は上へ行くほど高い